

総会報告

— 1998年8月8日 北海道浜中町 —

副会長：桜井善雄，角野康郎

幹事：沖 陽子，尾崎富衛，神田房行，国井秀伸，

久米 修，下田路子，田中 修，浜島繁隆，

林 浩二，別府敏夫，星 一彰（アイウ順）

I. 報告事項

1. 会員状況 (1997. 8～1998. 7)

新入会	23名
退会	3名
会費滞納中	6名
転居先不明	3名
現会員数	352名

3. 来年度全国集会開催地

事務局に一任（その後の交渉で、岡山県倉敷市に決定）

2. 1997年度事業報告

☆会報発行 No. 61～No. 63 (計96ページ)

☆第19回全国集会 8月3～4日 徳島市

3. 1997年度会計報告

《収入》

前年度繰越金	405,451
会費	1,184,000
別刷代金	163,500
バックナンバー売上	73,580
利息	2,229
合計	1,828,760

《支出》

会報印刷費 (別刷作成費含む)	1,044,435
会報発送費	37,460
通信費・宅配便	79,620
事務費 (文具・コピー代)	12,690
事務局謝金	10,000
合計	1,184,205
翌年度繰越金	644,555

「霧多布湿原学術研究助成」の紹介とお詫び

霧多布湿原の町浜中町では標記の研究助成を行い、特に若手の現地調査をサポートしながら湿原研究の振興を計っています。今回、その募集要項を掲載する予定でしたが、会報の発行が応募締切日（3月31日）に間に合わない見込みとなりました。浜中町関係者ならびに会員の皆様にお詫びするとともに、内容の一部を紹介します（募集要項より抜粋）。

次年度以降も募集されると思いますので、我こそはと思う方はぜひ問い合わせせて見て下さい。

【助成の趣旨】

浜中町ではラムサール条約登録湿地である霧多布湿原の保護と賢明な利用を図るための基礎資料の収集を行うため、平成6年度より主に浜中町内をフィールドとして実施する調査研究に対し研究助成をおこなってきました。

【応募資格者】

★大学に在籍する学生，大学院生

★大学，研究機関等に所属する若手，中堅の教官，研究員

★小学校，中学校，高等学校等の教職員

★その他，湿原や道東の自然環境に関心を持つ研究者，自然愛好家

【助成金額】

一件あたり30万円を上限とします。

II. 審議事項

1. 1998年度事業

☆会報発行 64～66号

☆全国集会 8月8～9日 浜中町

☆会員名簿の作成

2. 役員改選 (1999～2000)

会長：加崎英男

問い合わせ先：浜中町霧多布湿原センター

〒088-1360

北海道厚岸郡浜中町大字琵琶瀬村字四番沢103-19

TEL 0153-65-2779 FAX 0153-65-2774